

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成26年1月30日(木) (19:30~20:30)		
実施場所	川治公民館	参加人数	18人
参加対象	川治地区PTA		
懇談内容	<p>1. 発言者 分庁舎に食材の放射性物質測定器があるが学校給食の食材の検査に使えないか。</p> <p>市長 放射線測定にあたっては庁内でも異論もあったが、市民には安全をお届けできていると思っている。活用については、調べたうえで、所管する防災安全課と教育委員会で協議させていただく。</p> <p>2. 発言者 ・医療費助成や保育料軽減の受益は対象者のみの限定された支援であるが、一般の子どもたちへの支援も検討いただきたい。例えば、スキー活動用にスキーをレンタルしているが一部助成いただくなど。また、子どもたちの体操着は汚れや成長具合で何度も買い替える。新品は値段が高いため、バザーに古着を出すとすぐに売れる。学校ごとにまとめるとか工夫できないか。</p> <p>市長 医療費助成については、まずは切ない思いをされている方を助けたいとの発想からの助成である。学校の体操着のリサイクルについては、繊維を再生する方法を今職員が知恵を出す会議で考えている。健康な方へは、公園の整備とか負担軽減とかの方法もある。給食費の軽減とかも考えたことがある。アイデアがあれば負担軽減についてご意見をいただきたい。</p> <p>3. 発言者 自分は介護の仕事をしていて、新十日町病院の近くに看護学校ができればと期待している。今の中学生や高校生は将来が見出せないでいる子どもが多い。介護や看護の専門的な学校があったらいいと思う。できれば高校生のうちから教育できたらいいと思う。</p> <p>市長 高校のうちに医療系の勉強ができる学校が今度、小出にできる。現在は看護師の数が足りないが、どうやったら解決できるか。できれば、地域で働きたいという気持ちを持った人を増やしたい。そのために、看護師、保健師の資格が取れる学校が必要だと思っている。新潟県もかなり理解</p>		

を示していただいているので、なんとか進めていきたい。

#### 4. 発言者

様々な施策をやるにはお金が必要だ。ふるさと寄附金が7千万円もあるとは知らなかった。テレビで、ある小さな町が全国でもトップの寄附金があるとの番組があったが、いい特産品が贈られるという。十日町市も全国トップを目指して頑張してほしい。

#### 市長

当市も寄附者へのお礼として、2千円相当の特産品をお贈りしている。当市への寄付の中で、大地の芸術祭への応援が多くある。地域振興会にも寄附できるようになっており、松代では棚田基金を作ったら多くの寄付をいただいている。今後もしっかり対応していきたい。

#### 6. 発言者

「スッキリ」で雪まつりを何回か映しているが、ひと冬だけの一過性ではなくその先につなげる方法がないか。(豪雪ジャムのように)若い人ががんばっているようだが、いい案を引き出してほしい。

#### 市長

番組に出ている若い人たちは、地元志向でうれしいと思っているし期待している。雪まつりカーニバルの次の日の「豪雪JAM」は、別世界を感じる。当市は世田谷区と交流しており、正月に雪を持って行って好評である。20年来のつながりがあり、今後も物販等につなげるためにも大切にしていきたい。

#### 7. 発言者

①川治小学校では38人の児童がクロカンスキーをやっている。振興会からも支援いただいてスキーを買っていただいたりして、地域の盛り上がりもあり、南中がいい成績を出した。しかし、コース整備に使う圧雪車が古く壊れかけている。中古でいいので融通できないか。

②川治小学校のステージのバトン(看板吊り下げ用の横棒)が壊れている。手で引っ張る古いものなので、手巻き式のものに替えてほしい。この件は、学校なのかPTAなのか分からないが支援があればお願いしたい。

#### 市長

吉田中も近くに良い環境があり成果が出ている。南中学校も皆さんの努力が通じて良い結果が出た。支援はできるだけ均等になるようにしていきたい。